

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年3月30日
北アルプス地域振興局

提出区分		実績					
整理番号		16	課題区分		B		
実施機関		長野県中信県税事務所大町事務所				担当課	
事業名		「地域を知る」研修会開催事業				所属	
						電話	
						E-mail	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	平成29年度から地域振興局が設置され、私たち県職員は、これまで以上に、地域で生じている課題やニーズを的確に把握し、主体的・積極的に解決にあたる事が求められている。この研修会では、地域の現場で活躍されている方を招いてお話をお聞きして意見交換する機会を設け、県職員の能力の向上を目指すものである。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 県職員はこれまで以上に視野を広げ、多角的に物事を見て自分の考えを持つことが求められているが、普段は業務以外の業種と関わる機会が少ない。 昨年は若手の出席者が少なかったため、若手に興味を持ってもらえるような研修としたい。 ※平成28年度は計2回の研修会を実施。					
	内容 (変更後の内容)	講演と意見交換を主とした研修会を開催することにより、北アルプス地域をよりよく知るとともに、地域で生じている課題について主体的・積極的に解決にあたる資質をはぐくみ、様々な組織との連携による施策の立案に資することを企図する。年間3回の研修を実施する予定である。 第1回:「企業経営の現状と人材確保・育成について聞く」 (講師)赤田工業株式会社(池田町) 代表取締役 赤田 彌壽文、他社員2名 (内容)地域の企業が抱える課題や今後の経営方針などについて 第2回:「木崎湖畔で世界水準の観光地を考える～40年続く 三谷スタイルの宿～」 (講師)オーベルジュ「Kasuke3rd」オーナー夫妻(三谷 省造、三谷 恭子) (内容)オーベルジュ「Kasuke3rd」にて、地域の特色ある取り組みと現状について学びを深めた。 第3回:「新たな資金調達と政策手法による白馬高校の活性化」 (講師)白馬高校校長 北村 佳一、白馬山麓環境施設組合白馬高校支援担当局長 横川 辰彦 株式会社トラストバンク 浪越 達夫、白馬村役場総務課 渡邊 宏太 (内容)講演に加え、白馬高校生徒10名と参加者でグループディスカッションを行った。					
	事業期間	平成29年9月		～		平成30年2月	
	成果目標	研修後のアンケートで満足度8割以上					
事業費	68,760 円 (単位:円)						
事業費等	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8	外部講師報償費	64,000	79,500	63,600	15,900	
	9	外部講師旅行費	10,000	27,360	5,160	22,200	
						0	
	計		74,000	106,860	68,760	38,100	
事業実績・成果	事業実績			事業の成果		評価	
	第1回:「企業経営の現状と人材確保・育成について聞く」 参加者 26名 (日時・場所)平成29年9月28日 大町合同庁舎講堂 第2回:「木崎湖畔で世界水準の観光地を考える～40年続く 三谷スタイルの宿～」 参加者 15名 (日時・場所)平成29年12月13日 オーベルジュKASUKE3rd 第3回:「新たな資金調達と政策手法による白馬高校の活性化」 参加者24名 (日時・場所)平成30年2月13日 白馬高等学校 合計参加者数 65名			<ul style="list-style-type: none"> 合計参加者65名の内、研修後のアンケートを回答した者は48名(第1回22名、第2回10名、第3回16名)であり、研修会全体の満足度を「満足」、「おおむね満足」と回答した者は計46人(95.8%)のため、成果目標を上回ることができた。 地域の企業や宿泊業者等の協力のもと研修会を開催し、第3回では白馬高校生も参加しディスカッションを行うなど地域と協働した取組として実施した。 計3回の研修会を通して、地域の実情や地域活性化、さらには人材の育成などについて、行政とは別の観点から話を伺い、地域の課題やニーズを考えるいい機会になった。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下 	
今後の方向性	職員の課題解決力や政策形成力の向上のために、来年度も地域の様々な立場の方から話を聞く研修会を実施する。						